

平成30年度二宮町防災会議次第

日時：平成30年7月12日（木）
10時00分から

場所：二宮町役場2階第一会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 委嘱状交付（委員自己紹介）

4 議 題

（1）平成30年度二宮町総合防災訓練について

（2）その他

5 閉 会

二宮町防災会議委員名簿

	職名等	委員氏名	代理出席者	
			職名等	出席者名
1	二宮町長	村田 邦子		
2	関東農政局 神奈川支局 総括農政推進官	下村 努		
3	海上保安庁 第三管区海上保安本部 湘南海上保安署長	和田 聡明	専門員	登坂 仁紀
4	湘南地域県政総合センター所長	丸山 尚子	総務部県民・防災課長	若本 伸子
5	平塚土木事務所長	三枝 薫	工務部長	宮本 信也
6	平塚保健福祉事務所長	長谷川 嘉春		
7	企業庁平塚水道営業所長	宮林 正彦		
8	大磯警察署長	松嶋 誠	警備課長	和田 英次
9	二宮町副町長	長尾 秀美		
10	二宮町政策総務部長	田嶋 康宏		
11	二宮町教育長	府川 陽一		
12	二宮町消防長	西山 義勝		
13	二宮町消防団長	池田 昌隆		
14	東日本電信電話(株) 神奈川西支店長	笛田 美佐子		
15	東日本旅客鉄道(株)国府津駅長	成田 努		
16	神奈川中央交通西株式会社 秦野営業所長	橋本 興治郎		
17	東京電力パワーグリッド株式会社 平塚支社長	塚本 豊司		
18	中日本高速道路(株)東京支社 小田原保全・サービスセンター所長	吉田 陽子		
19	日本郵便(株) 二宮郵便局長	浅見 秀昭		
20	二宮町地区長連絡協議会長	脇 一男		
21	小田原ガス(株)取締役社長	原 正樹	執行役員供給部長	飯田 勉
22	中郡医師会二宮班長	加藤 博人		
23	陸上自衛隊第4施設群長	尼子 将之	第4施設群第3科土木幹部	荒倉 和真
24	二宮建設協力会長	高宮 松蔵		

(案)

平成 30 年度総合防災訓練 (H30. 8. 26 (日) 08:00~12:00)

自助・共助・公助連携訓練対象地区：一色・緑が丘・中里

訓練会場：神奈川県立二宮高校 (二宮町一色 1363)

職員向け防災研修



豪雨被災地である、常総市職員を講師に招き、職員向け講演会を実施
【7月20日(金)午後実施】

地区本部運営訓練

8:00 頃開始・会場：各地区
安否確認・情報伝達訓練(無線交信)・各地区が計画した訓練を実施



シェイクアウト訓練

8:00 開始・全員参加
事前放送で周知(緊急地震速報を吹鳴)



津波避難訓練

8:00 以降開始
【対象地区】通川匂・茶屋・梅沢
(小田原市住民も参加予定)



災害対策本部

町長・副町長・教育長各訓練巡視



体験型ブース・NTTブース・獣医師会ブース

体験型ブース・防災啓発ブース：10:00~12:00
(10:30~11:30 までの間は、体験ブースを中断する)
会場：二宮高校敷地内
内容：
・水消火器使用体験(消防本部職員指導)
・ロープワーク体験(自衛官指導)
・NTT による災害時伝言ダイヤル体験
・獣医師会による災害時におけるペット啓発

7:45 出発予定 巡視経路：本部(役場)⇒津波避難訓練地区⇒各地区訓練 ⇒二宮高校

給水訓練(3箇所)

災害時の飲料水確保を目的とし、二宮高区配水池・沖ノ田児童遊園地・ラディアン3箇所において給水訓練(取水)を実施する。今年度は、各地区への飲料水の配布は実施しない。

町職員参集訓練・災害対応訓練

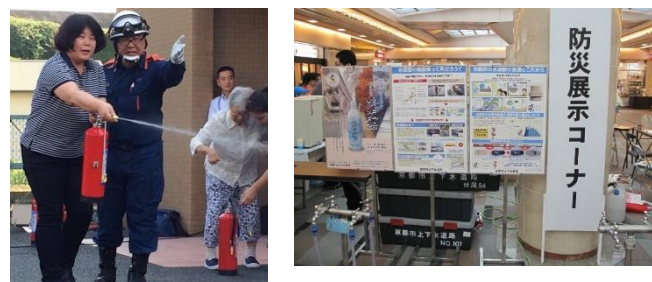
9:00 職員は二宮高校に設置された「現地対策本部」に参集する。職員の参集が完了後、格技場において心肺蘇生法訓練を実施(消防本部職員指導)
※一部職員は、訓練運営補助要員とする(交通整理等)
※災害対策本部員は、役場登庁後、二宮高校に移動

自衛隊炊飯車による炊き出し訓練(おにぎり 300 個)

自助・共助・公助連携訓練(消防訓練)

10:30~11:30
個人(自助)⇒地区(共助)⇒消防職・団員(公助)が連携した消火救出訓練

水道管応急復旧訓練



避難所運営調整会議

【6月頃予定】



地区自主防災訓練

【随時実施】



中央応急救護所訓練

【11月頃予定】



防災講演会

【1月頃予定】



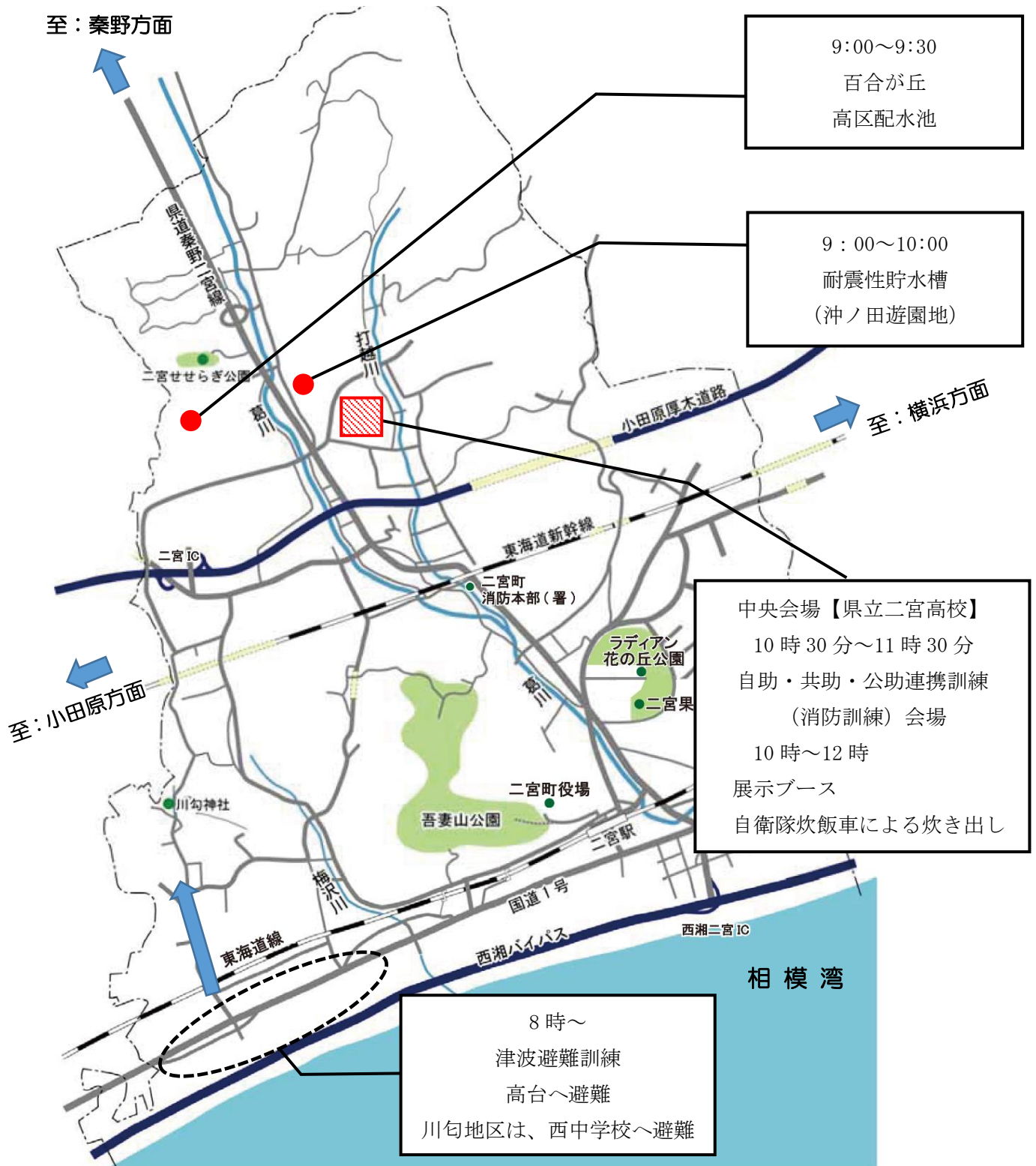
災害対策本部運営訓練

【2月頃予定】



平成 30 年度二宮町総合防災訓練

主な配置【配水池・貯水槽・主な訓練会場】



【自助・共助・公助連携訓練（合同消防訓練）】

10時30分より、地域、消防署、消防団や関係機関による合同訓練を実施
(今年度は、一色・緑が丘・中里地区が担当地区)

中央会場案内図【ブース展示・消防訓練実施場所】



【拡大図】



自衛隊炊飯車・展示ブース開設位置

平成30年度 二宮町総合防災訓練 タイムスケジュール

時系列	7:57	8:00	8:02	8:15	8:30	8:45	9:00	9:15	9:30	9:45	10:00	10:15	10:30	10:45	11:00	11:15	11:30	11:45	11:55	12:00
災害状況等		震度6弱	大津波警報						大津波警報解除											
機関名	緊急地震速報(防災行政無線放送)																			
二宮町	シエイクアウト																			
広域避難所	緊急速報メール発信(大津波警報発令)																			
中央応急救護所(ラディアン)	安否確認訓練																			
自主防災組織	参集 災害対応訓練(心肺蘇生法訓練) 連携訓練見学 防災行政無線情報受伝達訓練 情報報告確認 参集(配備職員) 職員配備(資機材設置) 情報収集報告 安否確認結果報告 参集 (資機材設置) 給水訓練(9:00~10:00) 情報収集報告 防災部長安否確認訓練 安否確認 防災行政無線による情報伝達訓練(18地区)(9:05~10:30) 情報収集(被害) 安否確認報告 被害状況報告 地区独自訓練 災害時地区本部設置 災害時地区本部運営訓練 自助・共助・公助連携訓練/二宮高校(一色・緑が丘・中里) 訓練終了																			
町民	避難開始																			
消防本部・署	給水訓練(9:00~10:00)																			
消防団	安否確認等																			
大磯警察署	訓練見学/展示ブース見学(一部)																			
平塚水道営業所西湘管工事組合町職員	津波対策訓練(梅沢・茶屋・通川匂)(小田原市住民) 自助・共助・公助連携訓練・地区(一色・緑が丘・中里)・消防本部・消防署・消防団(合同消防訓練)																			
中郡医師会二宮班	主要道路交差点優先確保(津波訓練会場付近)																			
二宮町議会	緊急輸送路等確保訓練(自助・共助・公助連携訓練,二宮高校)																			
自衛隊	二宮高区配水地着 給水準備 給水訓練(二宮高区配水池) → 二宮高区配水池の給水車は二宮高校へ移動 水道管応急復旧訓練 給水訓練(沖ノ田児童遊園地・ラディアン)																			
防災機関	安否確認訓練																			
	地区訓練視察・参加																			
	自衛隊保有の炊飯車両による炊き出し 通信訓練 ロープワーク教室 ロープ教室中断 おにぎり配布開始 ロープワーク教室																			
	防災関係機関 展示(二宮高校敷地内)																			

平成30年度二宮町総合防災訓練計画

1 目的

大規模地震発生時における初動体制の強化及び検証の実施。また、町、自主防災組織、防災関係者等が一体となった訓練を実施することにより、防災体制の確立及び防災意識の高揚を促し、併せて各地区の安否確認を中心とする訓練の実施により、更なる共助の強化を図ることを目的とする。

2 訓練の名称 平成30年度 二宮町総合防災訓練

3 実施日時 平成30年8月26日（日） 地震発災 午前8時00分

4 訓練会場 二宮町全域

二宮町役場・災害時地区本部・広域避難所など

二宮高校（自助・共助・公助連携訓練、体験型ブース、防災啓発）

5 訓練内容

- (1) 初動対応及び情報伝達収集訓練（行政・自主防災組織・関係団体）
- (2) 災害時地区本部運営訓練（自主防災組織）
- (3) 津波対策訓練（消防署・消防団・沿岸3地区自主防災組織・小田原市住民）
- (4) 自助・共助・公助連携訓練（合同消防訓練）、防災啓発活動（防災関係機関）
- (5) 災害対応訓練（二宮町職員に対する心肺蘇生法訓練の実施「消防職・団員指導」）

6 想定（参考資料「神奈川県地震被害想定調査報告書」）

平成30年8月26日（日）午前8時00分、二宮町は神奈川県近海を震源とする震度6弱の強い地震に見舞われた。この地震によって建物の倒壊が発生する中、相模湾一帯に大津波警報が発令された。

(1) 訓練地震規模

○震度6弱

○津波発生 二宮町5m 最短津波到達時間約5分

・避難訓練は、津波ハザードマップ（平成29年3月作成）の浸水想定をもとに訓練を実施する。

(2) 訓練被害規模（神奈川県被害想定調査報告書による想定値を準用）

○建物被害 全壊10棟 半壊270棟 火災件数5件 焼失棟数1棟

○人的被害 死者0人 負傷者110人（うち軽症者60人、中等症者50人）

○人的被害 死者0人 負傷者110人（うち軽症者60人、中等症者50人）

○土砂崩れ、液状化の被害なし。津波による浸水被害なし。

○電気23,390軒停電、ガス1,740戸供給停止（都市ガス）、通信回線10,070回線不通。上下水道においては、上水80人断水、下水440人機能支障。

7 参加予定機関（調整中）

二宮町	二宮町地区長連絡協議会	二宮町議会
中郡医師会二宮班	二宮町教育委員会	二宮建設協力会
二宮町消防本部・消防署	二宮町消防団	陸上自衛隊第4施設群
神奈川県	神奈川県大磯警察署	神奈川県企業庁平塚水道営業所
西湘管工事協同組合	東日本電信電話株式会社	神奈川県獣医師会
東京電力パワーグリッド		

8 訓練実施項目

(1) 初動対応及び情報伝達収集訓練（行政・自主防災組織・関係団体）

訓練項目	訓練内容	参加機関（者）
情報伝達訓練	J-アラートによる「緊急地震速報」受信により、防災行政無線により住民に対して地震発生到来内容を放送し、住民への情報伝達を行う。緊急速報メール、ツイッターの利用も考慮する。	消防署 町職員
危険回避訓練 （シェイクアウト訓練）	「緊急地震速報」放送を確認後、危険回避行動を行う。 （安全確保行動）	全体
安否確認情報収集訓練	安否情報確認システムを活用して、町職員、町議会議員、中郡医師会二宮班員、地区長（自主防災組織）に対し安否確認を行い、更に災害時地区本部の立ち上げ要請を行う。	町職員 町議会議員 中郡医師会二宮班 地区長（自主防災組織）
広域避難所等開設準備訓練	広域避難所等開設準備及び各地区安否確認状況、被害状況等を取りまとめ、災害対策本部へ情報伝達を行う。また、災害時特設公衆電話の設置訓練を行う。	広域避難所配備職員 中央応急救護所配備職員

(2) 災害時地区本部運営訓練（自主防災組織）

訓練項目	訓練内容	参加機関（者）
危険回避訓練 （シェイクアウト訓練）	「緊急地震速報」放送を確認後、危険回避行動を行う。ツイッター導入者は、受信状況の確認。火の元確認。建物の損壊状況、ガスの元栓確認。自宅のブレーカーを落とすことにより通電火災の防止策をとる。	全体
安否確認訓練 避難行動要支援者	各地区は災害時地区本部を拠点に、地区で決定している方法と名簿で安否確認訓練を行う（安否確認は、確認情報の統一化を推進している）。避難行動要支援者に対する連携訓練を行う。中学生の訓練参加により地域防災力の向上を促進する。	自主防災組織 住民
情報伝達収集訓練	地区内における被害状況の情報収集を行う。また、安否確認結果及び被害状況を広域避難所配備職員に報告する。防災行政無線（移動系）を活用した、防災行政無線情報受伝達訓練を災害対策本部と連携し行う（一部地区除く）	自主防災組織
飲料水供給訓練 （今年度は地区を巡回する給水訓練は実施しない）	町民への飲料水の供給のために二宮高区配水池からの取水及び二宮高校への飲料水の配送を実施する。	県企業庁 平塚水道営業所 西湘管工事業協同組合 町職員
地震対応訓練	地区自主計画による給食（炊き出し）訓練や各地区が防災倉庫に配備する資機材の点検等の実施。	自主防災組織 住民

(3) 津波対策訓練（消防署・沿岸3地区自主防災組織・小田原市民）

訓練項目	訓練内容	参加機関（者）
情報伝達訓練	J アラートによる「大津波警報」発令広報。消防署による海面監視、避難広報を実施。緊急速報メールやエリアメールで伝達。	消防署
避難訓練	川匂地区（通川匂）、茶屋地区、梅沢地区住民及び海浜利用者は、津波災害指定避難場所、もしくは高台に避難する。避難経路の確認。通川匂は、小田原市住民と合同で避難訓練を行う。	川匂地区（通川匂） 茶屋地区 梅沢地区 小田原市住民 （津波浸水想定区域）
避難誘導訓練	自ら避難できる体制を確保しつつ、津波に対する避難者の安全確保を図る。	消防署・消防団 大磯警察署

(4) 自助・共助・公助連携訓練、啓発活動（消防職員、消防団、一部地域住民等）

訓練項目	訓練内容	参加機関（者）
自助・共助・公助連携訓練 （二宮高校敷地内で実施）	会場設営し、消防署、消防団による地震発生を想定した訓練と地域住民と連携した消火訓練等の実施 （二宮高校グラウンド）	消防署・消防団 大磯警察署 建設協力会 地区住民 （一色・緑が丘・中里）
・水消火器体験ブース ・ロープワーク体験ブース ・災害用伝言ダイヤル体験 ・災害時におけるペットの対応方法等の啓発	会場設営（ブース設置）し、水消火器による消火体験やロープワーク体験の他、関係機関展示によるPR	消防署（消火器ブース運営） 自衛隊（ロープワーク指導） 消防団（消火器ブース補助） 東日本電信電話株式会社 （災害時用伝言ダイヤル） 神奈川県獣医師会中央支部 （災害時のペット対応啓発）
自衛隊保有の炊飯車による炊き出し活動（おにぎり）	自衛隊が保有する炊飯車の派遣を受け、おにぎり約300個を作成し、希望する来場者に配布する。	自衛隊 地区住民（補助員）

水道管応急復旧訓練	地震により水道管が損傷漏水したことを想定し、同管の応急復旧活動を実演する。	平塚水道営業所 西湘管工事協同組合
-----------	---------------------------------------	----------------------

(5) 災害対応訓練（二宮町職員）

訓練項目	訓練内容	参加機関（者）
災害対応訓練	二宮高校格技場において、心肺蘇生法の訓練を実施	二宮町職員 消防署・消防団（指導要員）

9 その他

○今年度の防災訓練においては、中学生の積極的な参加を求める事を考慮する。

○当日訓練中止の場合は次のとおりとして、中止決定は当日6時30分とする。

関係機関には防災安全課より電話により連絡を行い、町民には防災行政無線（固定系）で周知する。（中止による放送時間、7時30分）

当日の訓練実施に関わる問い合わせは、防災安全課（71-3311 代）又は消防署（72-0015 代）で対応。

（ア）県内全域若しくは二宮町内に、気象通報における警報若しくは災害が発生する恐れがある場合。

（イ）雨天により訓練参加者の安全確保が困難な場合。

（ウ）その他、訓練を実施することが困難と認める場合。

○津波対策訓練対象地区は、通川勾地区、茶屋地区、梅沢地区とします。

○防災行政無線（移動系）による情報受伝達訓練対象地区は、一色、緑が丘、百合が丘1丁目、百合が丘2丁目、百合が丘3丁目、中里、元町北、元町南、富士見が丘1丁目、富士見が丘2丁目、富士見が丘3丁目、松根、上町、中町、下町、梅沢、越地 JR 北側、茶屋

※計 18 地区の防災行政無線（移動系）配備済地区とします。

※釜野、越地 JR 南側、川勾は、広域避難所設置無線のため実施しない。

10 次年度以降の自助・公助・共助連携訓練の参加地区及び訓練会場について（予定）

年 度	地区名	会 場
平成 29 年度	元町北・元町南・富士見 1 ・ 富士見 2 ・富士見 3 ・松根	花の丘公園多目的広場
平成 30 年度(今年度)	一色・緑が丘・中里	二宮高校
平成 31 年度	百合が丘 1, 2, 3	百合が丘防災広場
平成 32 年度	梅沢・越地・釜野・茶屋・川勾	町民運動場

※ 会場については変更となる可能性があります。

津波対策訓練（通川匂・茶屋・梅沢地区）＋小田原市住民

時 間	訓練内容・訓練行動	その他
(目安) 7:55 ～ 7:58	【危険回避行動】 緊急地震速報（防災行政無線・1回放送） 「チャラン！チャラン！大地震です。 大地震です。これは 訓練放送です」	地震の到来を予告する 放送です。「火を消す」 「危険箇所から離れる」 など防災活動を取って ください。
8:00	【——地震発生想定——】 震度6弱 強い揺れ（約60秒） 【シェイクアウト】 まず低く！頭を守り！揺れが収まるま で動かない！	実際は揺れませんが、揺 れている事を想定し て、「地震の揺れから身 を守る行動」をとって ください。
8:02	【津波警報発表（防災行政無線・1回）】 ・防災行政無線による情報伝達 ・関係車両等による情報伝達	
8:02 ～ 8:05	【緊急速報メール】 大津波警報発令が発令されました、直ちに 高台へ避難してください。	二宮町周辺のほぼ全て の携帯、スマホへ送信、 受信状況を確認する。
8:02	高台へ避難 その後、二宮西中学校へ集合（川匂）	避難経路の確認 小田原市側住民参加
(目安) 8:30 ～ 8:35	【津波警報解除（防災行政無線・1回放 送）】 津波対策訓練終了 引き続き、通常の地区訓練に参加してくださ い。	